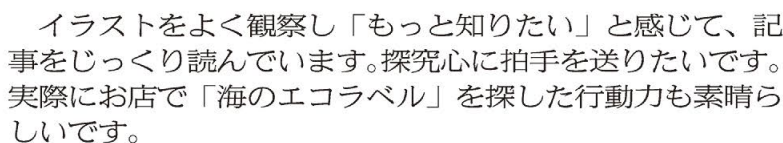


「このおすし屋さん、おしながきに魚の名前が一つもかかれていない。」
わたしは、おすしややき魚が大好きです。
子どもしんぶん太タイムズを読んでい
ると、おすし屋さんのお店の人がなしそ

うな顔をしていたり、おしながきに魚の名前がかかっていたりしたので、ふしぎに思いました。読みすすめていくと、「海のエコラベル」という言葉をはじめて知りました。

このマークは、一海洋かん理きようづき会」が作ったもので、きびしいきじゅんをクリアしたぎよぎようでとられたぎよかいいるいと、そのかこう品にだけつけられていることが分かりました。



もっと気になったので調べてみると、世界では魚を食べるりょうがふえていることが分かりました。広い海の中には、魚や貝がたくさんいるから、たくさん取っても大じょうぶだと思っていただけれど、やく3分の1が「取りすぎ」のじょうたいになっているそうです。このまま、魚が育つ速さと、取るりょうのバランスがくずれてしまうと、大すきな魚を食べられなくなってしまうし、りょうしさんたちの仕事もなくなってしまうかもしれない。

魚や生き物のすみかを大切にしながら、ルールを守って取っていることが分かる「海のエコラベル」がついたものをえらんで買うことは、わたしにもできる。ゆたかな海のかんきょうやみ来の食たたくを守ること、ぎょうじょうにかかわる人を助けることにもつながるのなら小さなことかもしれないけれど続けたい。